

## 令和元年度生涯学習部（中濃地域）研修会報告

日時：令和2年1月26日(日) 9:30~12:30  
場所：美濃市立美濃病院 みの健康ホール  
テーマ：古くて新しい理学療法技術としてのバイオフィードバック療法を見直そう  
講師：辻下 守弘先生（奈良学園大学 保健医療学部リハビリテーション学科 教授）  
木村 英司先生（木沢記念病院 リハビリテーション科）

参加人数：18名（スタッフ含）

令和元年度、生涯学習部（中濃地域）の研修会は、奈良学園大学 教授 辻下守弘先生を講師にお招きして、「古くて新しい理学療法技術としてのバイオフィードバック療法を見直そう」のテーマで、開催いたしました。バイオフィードバックというと、筋電図による筋活動のフィードバックをイメージしていましたが、心拍変動や皮膚音・皮膚抵抗などの応用もあることを紹介いただきました。また講義の中でデモンストレーションもしていただける機会があり、自律神経活動との関わりも可視化することも教えていただきました。現在、バイオフィードバックを臨床で使っている施設は少ないのが現状と思われませんが、辻下先生自身もオークションなどを利用して機材を安価でそろえていることも紹介いただき、講義終了後には、導入についての質問が出るなど、今回の研修会をきっかけに、この地域でのバイオフィードバックに対する認識が少しでも身近なものになったのではないかと思います。大変お忙しい中、今回の研修会の講師をしていただいた辻下先生、司会進行で講師をご担当いただいた木村先生に感謝の意を申し上げます。

最後に、ご講演頂きました辻下先生、木村先生をはじめ、本研修会に携わっていただいたスタッフの先生方に心より御礼申し上げます。

【講演の様子】



【講師の先生と運営スタッフ】

